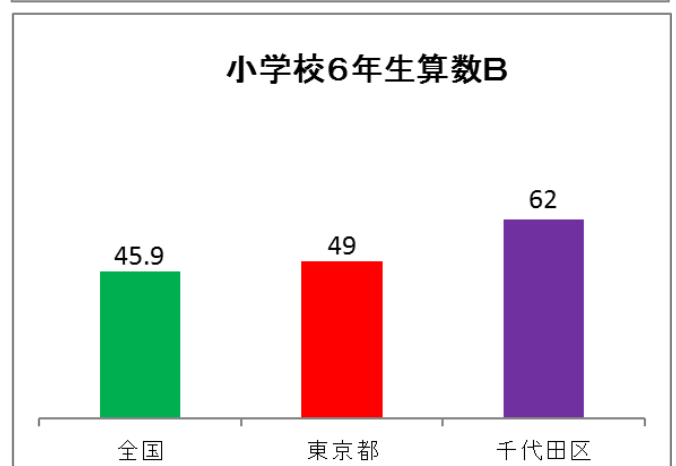
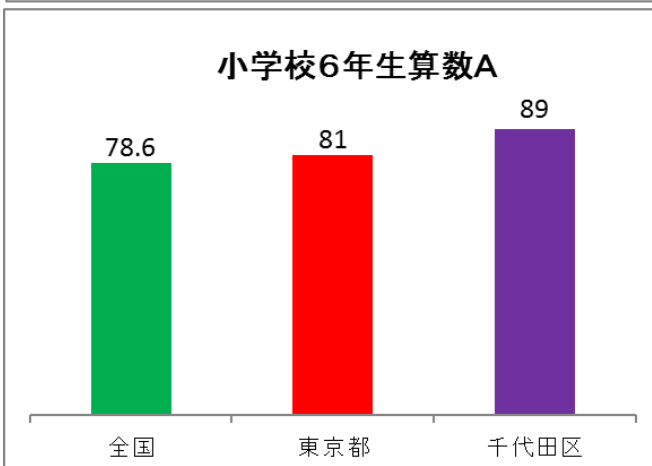
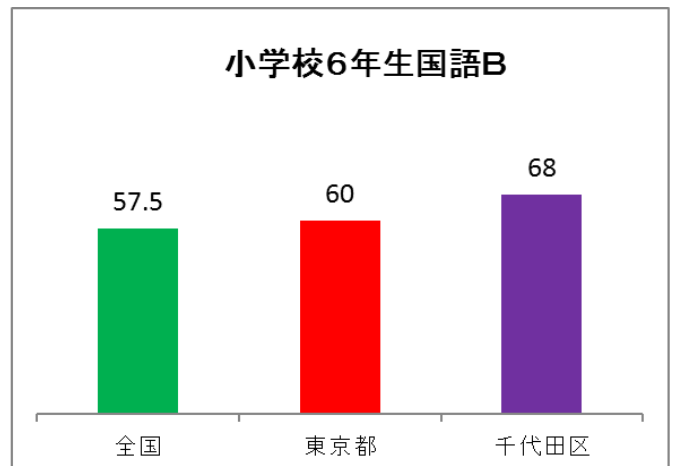
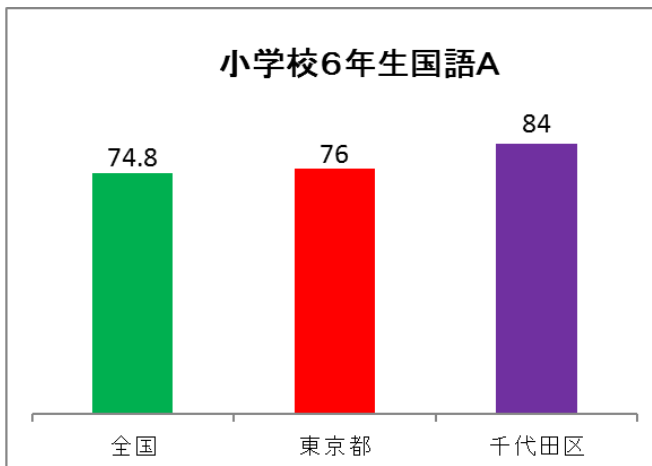
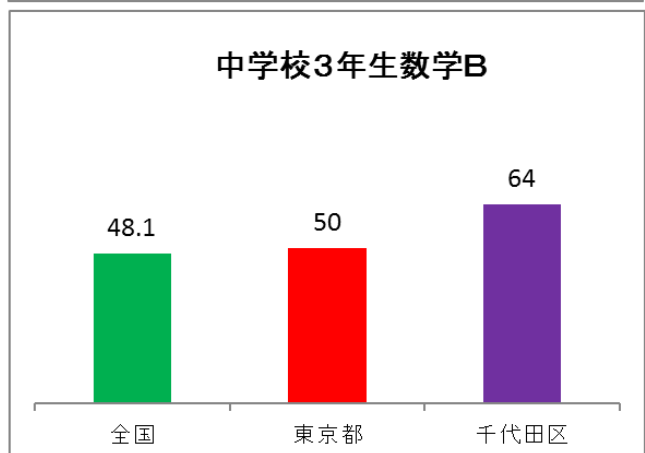
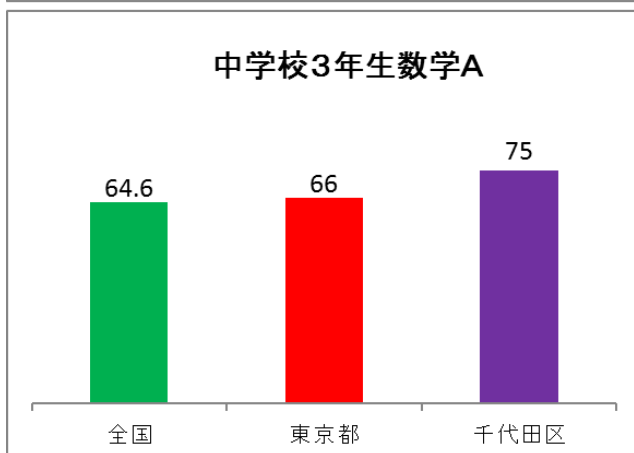
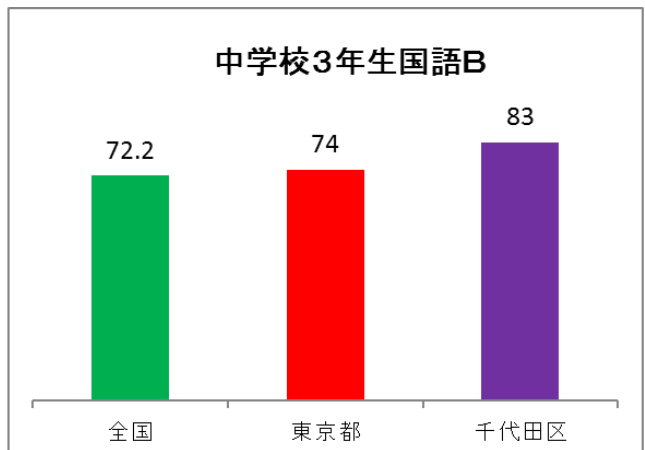
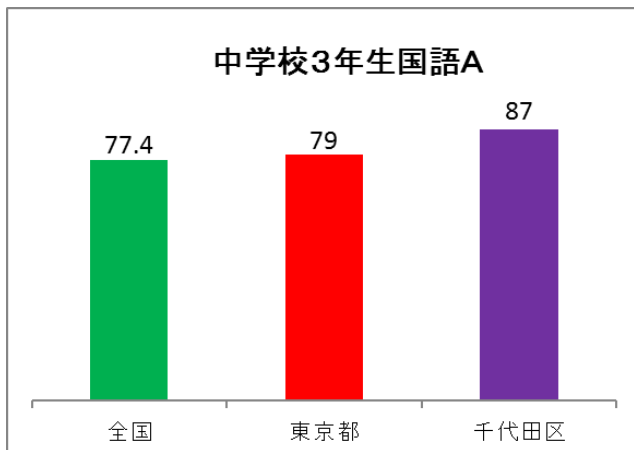


平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果

- 1 実施日 平成29年4月18日(火)
- 2 対象学年 小学校第6学年在籍児童 国語・算数 質問紙意識調査
中学校第3学年在籍生徒 国語・数学 質問紙意識調査
※ A問題は主として知識、B問題は主として活用を問う問題
- 3 結果
数値は正答率(%)





○小学校、中学校とも、国語A、国語B、算数A、算数B問題において、東京都は全国を上回り、千代田区は、東京都を上回っている。

【A問題（主として知識を問う問題）】

- 昨年度同様小学校、中学校ともに高い正答率であり、知識の定着に大きな課題はない。
- 中学校数学の正答率が小学校国語・算数・中学校国語のA問題と比してやや低いが、全国や東京都の正答率も低いことから、問題の難易度が高かったものと思われる。

【B問題（主として主として活用を問う問題）】

- 昨年度と同様、国語、算数・数学とも基本問題のA問題よりも、活用問題のB問題の正答率が下がる傾向にあり、各校において身に付けた知識を活用できる力を育成することが課題である。
- 小学校では、国語Bで8ポイント、算数Bで13ポイント東京都の正答率を上回り、中学校では、国語Bで11ポイント、数学Bで14ポイント、東京都の正答率を上回っている。